

雷と突風、強雨及び降ひょうに対する農作物の技術対策

令和 7 年 2 月 1 2 日
農林水産部担い手支援課

銚子地方気象台の発表によれば、低気圧や前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込むため、千葉県では13日未明から明け方にかけて、大気の状態が非常に不安定となり、落雷や竜巻などの激しい突風、急な強い雨、降ひょうに注意が必要です。

ついては、次の事項を参考に、技術対策を実施してください。また、作業時は竜巻や激しい突風による飛来物等に注意してください。

＜事後対策＞

1 園芸共通（野菜・花き）

- (1) 施設が破損した場合は、速やかに補修を行う。
- (2) ほ場に湛水している場合は水を早急に排除し、根腐れを防止する。
- (3) 施設内に雨水が流入した場合は、できるだけ速やかに排水し、水が引いた後に、ベッドを整形するとともに中耕する。
- (4) 潮風等を受けた場合は、速やかに真水で洗い流す。
- (5) 栽培中の作物では、土壌の表面が乾いてきたら、追肥用化成などを用いて追肥を行い、軽く中耕を行うことにより生育の回復を促す。
- (6) 風雨のあとは特に病害の発生に注意し、薬剤散布を行う。
- (7) 農薬を散布する場合は「農作物病虫害雑草防除指針」の防除法を参照する。
- (8) 無加温のハウスでは、施設内が多湿になり、病害が発生しやすくなるため、天候が回復したら、十分換気を行う。
- (9) 風害等により草勢が弱った場合には液肥の葉面散布を行い、草勢の回復を図る。
- (10) 落雷等により停電が発生する恐れがあるため、電源や設備の状態に注意する。

2 果樹全般

- (1) 樹が倒伏したものは、無理のない範囲で徐々に起こし、土寄せし支柱を立てる。
- (2) 潮風害を受けた地域では、風が収まった後、速やかに真水を葉面に散布し、塩分を洗い流す。
- (3) 園の排水に心がけ、滞水した場合は速やかに排水を図る。
- (4) 散布する殺菌剤は「農作物病虫害雑草防除指針」の防除法を参照する。
- (5) 収穫期を控えた果樹は、特に収穫前使用基準に注意する。